

第29回東日本大震災復興支援ボランティア

宮城県亶理町立逢隈小学校サマースクール（学習支援）

平成25年8月21日～23日の3日間、宮城県亶理郡亶理町の亶理町立逢隈小学校で被災者支援として、本学の学生12名がサマースクールを実施しました。昨年につき二回目の実施です。夏休み終了間際の小学生の宿題を見たり、一緒に体を動かして遊んだりしました。今年のサマースクールでは、お昼休みを挟んで午前の部と午後の部の2部構成で活動を行いました。参加した生徒は三日間のべで300人ぐらいと大変大勢参加してくれました。



午前の部では、児童を低学年・中学年・高学年の3クラスに分け、夏休みの宿題のわからないところを教えたり、宿題が終わった子どもたちの自習の面倒をみたりしました。

午後の部では『自然と遊ぼう』『ニュースポーツ』『ダンス』『ゆび編み』の4つのグループに分かれて普段学校ではできないことに挑戦する時間となりました。

『自然と遊ぼう』は普段見慣れた校庭にある木などを使い遊びました。『ニュースポーツ』は亶理

町スポーツ指導者協議会のご協力を得てキンボールなどに取り組みました。『ダンス』は昨年も参加してくださった振付師のアオキさんの指導のもと今年初参加のギタリストのマルケンさんの音楽に合わせて創作ダンスを行いました。『ゆび編み』では編み棒などなくても編めるゆび編みでマフラーを編んだり、シュシュを作ったりしました。

また、今年初めての試みとして午前に保護者の方を対象としたクラスも開講しました。本学長谷川教授のユング心理学をベースとしたMBTIという心理テストを受けるクラスとアオキさんのダンスのクラスです。日頃触れたことがない内容で保護者の方も非常に楽しんでくれました。お昼休みには松島自然の家と東北福祉大学の方が来てくださり、1日目は手作りピザ、2日目は流しそうめんをお昼ご飯として子どもたちと一緒にいただきました。

被災地の子供たちの笑顔がとても印象に残るボランティア活動となりました。

